



# 浜家連 ニュース3月号

第247号

2021年3月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階  
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836  
URL <http://hamakaren.jp/>

## 施設がなくても始められる一人生活

副理事長 大羽 更明

現在 37 歳の我が息子、これまで精神科に入院したのは 2006.7~12 (22 歳) からです。その後、2007.5~10、2007.11~2008.4、2008.5~6、2011.9~12、2013.10~12、2014.3~5、2016.3~2017.8、2018.6~2018.8、2019.3~5、2020.8~2020.10。ここ 15 年間の間に 10 回以上、通算 3 年 9 ヶ月になります。最近の入院のきっかけは、病院の内外での暴力、直近では家族への頻発する暴発行為でした。

今回の入院も、包丁を持って暴れる姿勢を見せる彼と、なんとかしようとする父とのもみ合いの末に仕方なく警察に通報して、その結果の措置入院からかかりつけ病院への転院でした。

退院前のカンファレンスに集まってくれたのは、病院から担当医と担当相談員さん、院外から区役所高齢・障害支援課 MSW さん、知的障害担当ワーカーさん、基幹相談支援担当員さん、通所先事業所職員さん、訪問看護ステーション看護師さん、そして家族です。(本人の参加が原則必要ですが、このときはまだ本人抜きの必要ありとの皆さんの判断でした)。

皆さんの話合いの中で得た共通認識は、本人が家族と離れて暮らすという選択肢がベストで、必須だということでした。家族にもそのことはわかっていました。けれども、本人の生活能力は低いのに入所できるような施設はまったくなく、他人との付き合いが苦手で生活自立度の低い彼にとってグループホームは敷居の高い場所です。いったいどこに彼が暮らすところがあるのでしょうか。

しかし、ここで支援者の方々から出たのは、「アパートなりマンションなりで住むようにすれば一人暮らしはできる、地域で私たちが支援するから」と

いうお話でした。私はショックを受けました。今まで何度も「どうしたらよいか」相談をしても、「本人の希望をよく聴いて」とか、「いっしょに考えていきましょう。」とかのはっきりしないお話で、ほんとうに行き詰っていました。「私たちがいるから心配しないで！」という言葉ははじめてです。

そして、退院になり、同時に始めたマンスリーマンションでの一人生活。代わる代わる支援者の誰かが訪ねてきてくれます。食品を買い近所のコンビニ店の場所、日々の行動予定がわかるようにカレンダーに貼ったメモパッド、連絡先の電話番号リスト、駅やバス停までの地図など必要な情報を提供してくれます。

月に一度のケア会議に皆が集まり、誰が何をするのがいいか検討してくれます。日常のサポートをしてくださる方も、他区的生活支援センター職員さん、ホームヘルパーさんと増えています。

いろいろと失敗の体験もしています。夜中に大声を上げて騒いで近隣の方から通報され、警察官の事情聴取を受けたことがあります。妄想に支配されて以前の病院に抗議に乗り込んだり、電車の行き先を間違っ都内まで行ったこともあります。実家への電話は多いときには日に数回、1 回に 30 分を超えることもありました。

でも、大事なのは彼が自分で体験する機会を得たこと、経験をして一人でできる行動半径が広がっていることだと思います。自信が強さにつながったように感じます。家族にも日増しに安心感が深まってきました。一人の障害者の支援にチームで取り組む皆さんの姿を目の当たりにして、あらためて畏敬の念と感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

ほんとうにありがとうございます。

## 浜家連の動き



### 「横浜市の精神保健福祉ガイド」第9版の発行に当たって 若杉会 西川 進

浜家連発行 2021 年版「横浜市の精神保健福祉ガイド」が発刊されました。このガイドブックは横浜市による「障害福祉のあんない」の精神障害福祉版ですが、今年は 2002 年の初版から版を重ねて第 9 版となり、分かり易く編集しています。

内容は横浜市の精神障害者向けの福祉サービス案内はもちろんのこと、カード様式障害者手帳の入手方法や市内の医療機関やグループホーム等の所在・連絡先を区ごとに網羅しています。一度ご覧いただき、入手ご希望の方は 1 部 500 円で購入できます。単会担当者にお申し出ください。また浜家連ホームページからダウンロードも可能です。ご利用ください。



## 中止となった家族学習会の参加予定の方へ

### 2020年度家族による家族学習会中止と「家族学習会通信」の発行について 学習会実行委員会委員長 稲垣 宇一郎

2020年度の「家族による家族学習会」は新型コロナウイルス感染症の影響で、浜家連家族学習会実行委員会による1グループの実施を目標に進めて参りました。参加者を「比較的若い当事者を持つ家族の方」を主に募集しましたところ、10家族11名の方々からご応募を頂き、私たち受けいれる担当者側も1月31日からのスタートに向けて体制を整えて準備を進めて参りました。



家族学習会  
通信の一部

その中で、コロナ禍は収まらず、1月7日の緊急事態宣言発出を受けて誠に残念ながら中止を決断し、参加予定者の皆様にその旨のご連絡を致しました。

中止を決定する一方で「せっかくのご縁をこのまま終わらせないで、何か出来ることはないだろうか・・・」と実行委員を中心とする関係者で相談して参りました。結果、本来実施する予定だった5回の家族学習会実施日に合わせて「家族による家族会通信」をお届けしようという事になりました。お役に立つ情報や担当者を中心とする体験談を盛り込みたいと考えております。

既に第2号を2月中旬に発行し、参加予定者の方々にお届けいたしました。

2021年度はコロナ禍も一段落して家族学習会も安心して開催されることを願い、今回の通信もその為の繋がりになればと思っております。

## 米倉令二顧問への想い

先日ご逝去されました米倉令二顧問について、以下のメッセージが寄せられています。

### 米倉令二さまを偲んで

理事長 宮川 玲子



過日米倉様のご逝去されました。

米倉様は長年浜家連でご活躍されました。瀬谷区から理事として参加され、元浜家連会長（途中から法人化したので理事長）の石井さんの時は副会長（後に副理事長）として11年間携わり、その後2年間理事長として活躍され、退任した後は顧問として7年間理事会に来ていただきアドバイスを頂きました。

米倉さんが理事長になった2年間は私と柏木さんが副理事長、鷹野さんが専務理事になり三役の結束には意見交換が必要ということで、三役会を新たに設けました。議案を討議していると午前中で終わらず、いつも4時までかかりました。その時期は今まで無料だった福祉乗車券が有料になるという案が市から出され、浜家連としては反対を表明し、市議員などに働きかけました。有料にはなりましたが、提示してきた金額3,200円が1,200円と半額以下になったということがありました。また一緒にACTの研究会を作ってアウトリーチのモデル事業をしている病院を見学に行ったりしました。理事長退任後も家族学習会には実行委員として普及活動に熱心に取り組んで下さいました。お蔭様で18区とも実施することができました。

米倉さんはいつも穏やかで思慮深く、大局の見地から物事を判断され皆さんに安心感を与えました。一人一人にいつも優しく言葉をかけられ、私も励まされ感謝しております。

ご冥福をお祈りいたします。

### 米倉令二さんのご逝去を悼む

前理事長 石井 紀男

正月ボケから抜けきれない時に米倉さんご逝去の報に接し、本当にびっくりしました。信じられない気持ちです。

米倉さんのご冥福をお祈するとともに、ご家族皆様にお悔やみ申し上げます。

私が米倉さんに初めてお会いしたのは、私が浜家連の副会長になった平成11年だったと思います。この頃の浜家連は平成8年におきた「むくどりの家火災事件」（浜家連が設置した第1号の作業所が火災で全焼した事件）の後始末に忙殺されていた時期でした。結局、平成12年に裁判になり平成16年に判決が出て、「浜家連に損害賠償の責任はない」ということで決着がつかしました。私も米倉さんも事実関係は全く知らないけれど、裁判の大変さを痛感しました。

その後、私が会長職を受けたとき米倉さんに副会長をお願いしました。以来11年間会長・副会長のコンビで浜家連の運営にかかわりました。

この間、最も記憶に残ることはNPO法人の立ち上げ、記念コンサート、記念誌の発行など一連の行事です。米倉さんはどんなハプニングが起こっても常に沈着冷静な判断で皆をリードして下さいました。沈着冷静という言葉は彼のためにあるようなものです。平成24年には理事長に就任され、NPO法人浜家連の活動を軌道に乗せ、今日の浜家連を作りあげました。その功績は誰も忘れることはないでしょう。

最後米倉さんの御霊にお誓いします。浜家連は私達で受け継ぎ、守り、発展させていきます。どうか安らかにお眠り下さい。

### 米倉さんとの家族学習会

年明け早々に米倉さんご逝去の報に接し、悲しみと喪失感につつまれました。

米倉さんとは理事としてより、家族学習会企画委員としてのつき合いの方が長くなります。

浜家連が家族学習会に取り組むきっかけは SST の高森先生(家族学習会企画委員)が米倉さんに「浜家連も参加しませんか？」と声をかけて下さったことに始まります。

平成 20 年 9 月理事 5 名(米倉、北谷、柏木、高村、倉澤)で市川市で開催された担当者研修会に参加。その後各々がアドバイザーとなり浜家連での家族学習会を展開していくことになりました。

米倉さん、柏木さん、倉澤は家族学習会企画委員にもなり出前講座(セミナー)開催のため、静岡や岡山等へも行きました。

駆け出しアドバイザーで拙い私の説明にも米倉さんは決して否定することなく「倉澤節(ぶし)でいいんだよ」と温かく見守っていただいたことは忘れません。ありがとうございました。

### 家族学習会実行委員 倉澤 政江

2014 年 1 月山梨県南アルプス市で行われた家族学習会セミナーに米倉さん、井汲さん、倉澤、千葉の家族 2 名が講師として参加しました。山梨は米倉さんの故郷。セミナー終了後は名物のほうとう鍋を囲み、日本酒(米倉さんの好物)をいただきながら、ご先祖は武士だったこと、資料館の古文書に先祖の名があり、良き働きをしたらしい、と楽しそうに語っていたのが懐かしいです。

浜家連と家族学習会実行委員会は、大きな精神的支柱を失ってしまいました。

たえず当事者の側に立ち、人権に対するまなざしはぶれることがなく、当事者の幸せにつながることは何かを真摯に考え、求めるその姿に多くのことを学びました。

日比谷野音での障害者自立支援法反対集会にも何度かご一緒しました。

私達はこれからも、米倉さんが願った思いを次につないでいきたいと思っています。

心よりご冥福をお祈りいたします。



**【編集後記】** 東北地方で震度 6 強という想像を超えた大きな地震が発生しました。東日本大震災発生から 10 年、必死の思いで復興を成し遂げてきたものが、一瞬で壊れてしまいました。被災地の方々の心情を思うと心が痛みます。また、女性差別発言で問題となったオリンピック森会長辞任のゴタゴタ、いまだに終息の出口が見えないコロナウイルス、そしてワクチンは・・・、happy なニュースはなかなか聞こえてきません。それでも時は確実に進んでいます。日々暖かくなり、春の訪れを感じる季節となっています。

新年度ももうすぐ始まります。各単会では来年度に向けての体制づくりや、活動計画について準備が進められていることと思います。コロナ禍の中、思うような計画は立てにくいこととは思いますが、会員の皆さんが満足できるような計画ができますよう、話し合いを重ねていただけたらと思います。

(事務局 中居)